

葉色の低下を見て遅れず穂肥！

草刈りは7月中旬までに！

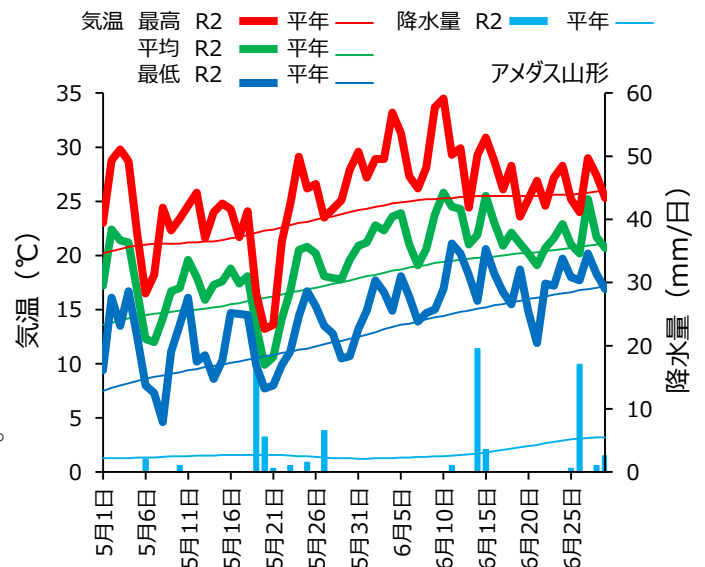
山形おいしさ際立つ！米づくりプロジェクト本部

◎ 気象概況

6月中旬の平均気温は高く、降水量は平年並から多く、日照時間は平年並から多くなりました。6月下旬は、気温、日照時間は平年並み、降水量は平年よりやや少なく経過しました。

◎ 生育概況

6月30日現在の平坦部「はえぬき」の生育は、平年と比べて、草丈は長く、茎数は多く、葉数と葉色は平年並みとっています。農業総合研究センター（山形市）の幼穂調査では、早生品種の出穂は概ね平年並みと予想されています。



平坦部「はえぬき」の生育（6月30日）

項目	調査値	平年値	平年比・差	概況
草丈	47.6 cm	43.7 cm	109	平年より長い
茎数	696 本/m ²	658 本/m ²	106	平年より多い
葉数	9.5 枚	9.3 枚	0.2	平年並み
葉色 (SPAD)	42.3	43.1	-0.8	平年並み

※各農業技術普及課の調査結果を平均した値

◎当面の技術対策

6月25日発表の1か月予報（6月27日～7月26日）では、気温は高く、降水量は平年並みか多く、日照時間は平年並みか少ない見込みとなっています。

生育（茎数、葉色）を確認して、品質と食味を重視した管理を行いましょう。

（1）中干しは小ひびが入る程度まで実施 ～作溝と合わせて効果的に！～

茎数は確保されています。まだ中干しを行っていないほ場は直ちに実施し、無効分げつの抑制を図り、根の活力を向上させ穂肥がしっかり行える稲姿に仕上げましょう。

中干しは、ほ場に小ひびが入る程度を目安とします。茎数が多い場合や、葉色が標準より濃い場合は強めの中干し、茎数が少なく、葉色が薄い場合は弱めに中干しを行います。また、中干しの効果を高め、効率的な水管理ができるよう作溝も合わせて行いましょう。

(2) 葉色の低下を確認し遅れず穂肥 ～葉色の低下が見られない場合は減肥！～

「はえぬき」は、7月10日（10.5葉期）までに生育（茎数、葉色）を確認し、出穂25日前（幼穂形成期）に窒素成分で2.0kg/10aを上限に穂肥を実施します。茎数が700本/m²以上、または、葉色40以上（SPAD値）のほ場で、葉色が低下しない場合は、窒素成分で1.5kg/10a以下に減肥します。また、茎数が450本/m²以下の場合は穂肥の時期を早めます。

(3) 斑点米カメムシ類対策 ～草刈りは地域ぐるみで一斉に取り組もう！～

斑点米カメムシ類の発生は平年より多いと予想されています。イネ科雑草が繁茂している畦畔や農道周辺では発生がさらに多くなりやすいので、地域ぐるみで草刈りを徹底し、斑点米カメムシ類の生息密度低下に努めます。ただし、出穂間近の草刈りは、カメムシ類を水田に追い込んでしまうので、出穂2週間前頃となる7月中旬までに終了しましょう。また、水田内のノビエやホタルイ等もカメムシ類の発生源になるので、本田の残草対策も万全に行います。

(4) 葉いもち対策 ～今後の葉いもち発生に注意！～

6月26日に水田内で葉いもちの発生が確認されています。1か月予報では、降水量は平年並みか多く、日照時間は平年並みか少ないと予報され、感染に好適な気象条件となることから、ほ場をよく見回り、早期発見、早期防除を徹底します。

(5) 直播栽培 ～生育量に応じた穂肥～

湛水直播栽培でも、有効茎数を確保したら、速やかに落水して作溝・中干しを行いましょう。V溝乾田直播栽培は、生育過剰の場合にのみ中干しを行います。湛水直播栽培の「はえぬき」の標準的な穂肥は、出穂25日前（幼穂形成期）に窒素成分で2.0kg/10aです。出穂30日前頃（10葉期）にm²当たり茎数700～750本で葉色が40～42のやや過剰な生育の場合は、施用量を1.0～1.5kg/10aに減肥し、茎数750本以上で葉色が42以上の場合は追肥を中止しましょう。

つや姫生育情報

6月30日現在の生育は、平年より草丈が長く、茎数はやや多く、葉数はやや多く、葉色は平年並みとなっています。茎数は十分確保されています。今後も作溝・中干しを継続して小ひびが入るまで行い、無効分げつを抑制しましょう。

7月10日頃（10葉期）に生育（茎数、葉色）を確認し、葉色の低下程度を見ながら、出穂25日前までに品質・食味を優先した穂肥を遅れずに行いましょう。

「つや姫」の生育（6月30日）

項目	調査値	平年値	平年比・差	概況
草丈	48.5 cm	43.0 cm	113	平年より長い
茎数	564 本/m ²	550 本/m ²	103	平年よりやや多い
葉数	9.5 枚	9.2 枚	0.3	平年よりやや多い
葉色 (SPAD)	41.7	42.4	-0.7	平年並み

※各農業技術普及課の調査結果を平均した値

農作業事故と熱中症に十分注意してください！

休憩をこまめにとり、水分補給を行いながら、無理のない作業を！

農薬のラベルをよく読んで使用しましょう！ 農薬危害防止運動実施中